

**令和6年度（第13期）事業計画書**  
**（令和6年4月1日～令和7年3月31日）**

**1.第12回奨学生の採用決定（5月予定）**

（1）新奨学生を採用することとし、当財団奨学生選考委員会で決定する。

新採用大学院生 19名程度

（2）給与奨学生（1名/月 40,000円支給）

第11期 大学院修士課程奨学生（ 19名）

第12期 大学院修士課程奨学生（予定19名）

**2.理事会及び評議員会の開催**

**【理事会】**

令和6年5月9日（木）に書面決議を予定  
（予定議案）

- イ. 事業報告（案）及び決算（案）の承認
- ロ. 任期満了に伴う理事候補者の承認
- ハ. 評議員会（6月14日）開催決議
- ニ. 補正予算のある場合、承認

令和6年7月6日（土）にスイスホテル南海大阪で開催予定  
（予定議案）

- イ. 次年度募集要項の検討、承認

令和7年3月8日（土）にスイスホテル南海大阪で開催予定  
（予定議案）

- イ. 事業計画、及び予算の承認

### 【評議員会】

- **令和6年6月14日（金）**を丸一鋼管(株)本社会議室で開催予定  
(予定議案)
  - イ. 事業報告（案）及び決算（案）の承認
  - ロ. 任期満了に伴う理事選任の件
  - ハ. 任期満了に伴う監事選任の件
  - ニ. 任期満了に伴う評議員選任の件
  - ホ. 補正予算のある場合、承認
  
- **令和7年3月8日（土）**にスイスホテル南海大阪で開催予定を予定  
(予定議案)
  - イ. 事業計画及び予算の承認

### 3. 日本文化研修会

(令和6年6月15日（土）開催予定)

第11期生を対象とした、第2回日本文化研修会を京都・宝鏡寺で開催する。  
研究活動や、まして社会人になると海外とのつながりは増幅していく。しかし日本文化について語ろうとすると知識、見識が不十分なことに気づかされることがある。

研修会では宝鏡寺を見学しながら御門跡の歴史についてのお話、お薄のいただき方、そして精進料理で五感を学び日本の歴史について思いを寄せる機会とする。

### 4. 奨学生テーブルマナー講習会

(令和6年7月6日（土）開催予定)

第12期生を対象とした、第4回テーブルマナー講習会をスイスホテル南海大阪で開催する。

益々グローバル化する社会では海外展開は必須の条件になってきている。  
これから幅広く活躍するであろう奨学生にテーブルマナーを習得する機会として講習会を実施する。

## 5. ワークショップ、奨学生の集い

(令和7年3月8日(土)にスイスホテル南海大阪で開催予定)

在籍奨学生と財団役員による集いの会を開催する。

会では前半に事務局が提示したテーマ(例えばSDGs 17の目標の「つくる責任 つかう責任」「飢餓をゼロに」)でワークショップを行い、学生同士の親睦、結束を深める機会を提供する。

これに、社会で活躍する理事、監事、評議員等が加わり意見交流を行う。

ワークショップの経過、結論はグループごとに懇親会で発表し、優劣は参加者の投票で決する。議論を通じて自己成長の一端になる事を期待する。

なお、本年卒業奨学生には、財団卒業生であった証として財団名を刻印したUSBメモリーを贈呈する。

## 6. 工場見学会の開催

(令和6年9月19日(木)開催予定)

12期生を対象に、8回目となる工場見学会(丸一鋼管株式会社堺工場)を計画する。

自らの専門分野だけでなく、鉄鋼企業の製造現場を見学することで、社会の知見を広める一助となることを目的とする。

## 6. 奨学生に対する個別指導、助言

必要に応じ、奨学生から近況報告を受けるとともに、相談があれば個別に応援、助言を行う。幅広く、海外留学、進路相談などに対応する。

以上